

bethel hospice letter spring

ホスピスだより

tender loving care vol.30

松山ベテル病院 緩和ケア病棟

〒790-0833

松山市祝谷6丁目1229番地

TEL 089(925)5000

FAX 089(925)5599



医療法人 聖愛会
松山ベテル病院

<https://www.bethel.or.jp>



なつまつり

例年8月には、夏祭りを開催しています。今年も、感染状況をみながら、お祭りの計画をしていましたが、院内クラスターが発生し、例年のようにデイルームに患者さま・スタッフが集まって実施することができませんでした。「すべて中止」とするのも寂しさを感じたため、病棟のデイルームに、1週間ほど夏祭りの飾り付けをし、ヨーヨー釣りと輪投げコーナーを作り、雰囲気だけでも楽しんで頂けるようにしました。

散歩やりハビリでデイルームに訪れた患者さまが、「あら、お祭り？懐かしい。やってみようかな」と個々で参加して下さったり、法被を着て写真を撮られたりする姿がみられました。花柄の提灯や、スタッフ手作りのお守りといった飾りを景品として用意し、好きな物を選んで頂き、ベッドサイドに飾りました。

面会や外出・外泊もできない病院生活の中で、ほんの少しではありますが、夏祭りの雰囲気や、懐かしさを感じられる時間もつことができたかなと思います。



患者さまは
法被を羽織って、
お祭り気分を味わって
頂きました！！



職員が一つ一つ手作り
したお守りです♪



コロナ禍に入院されている患者様にインタビュー！！ 生の声を聞かせていただきました！！



コロナ禍に入院されてどうですか？
今、思うことを何でもいいので教えて下さい！！

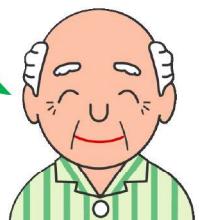
看護師さんには色々よくしていただいて申し分ない。

一番つらいのはやっぱり、家族に自由に会えないことかなぁ。。。

あとは外出が自由に出来ないことやね。普通なら、

ちょっと出かけて何か少し食べに行ったりもできるやろ？

あと、家に帰って色々整理とかないかんことをしたい！



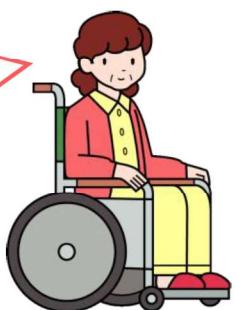
面会出来んのは自分の体を守るためやけん仕方ない。

それより看護師さんの方が大変よ！！

私はラシックスやその他の薬で、トイしが1時間に1回とか

もっと短い時は40分くらいの時もあるのに、嫌な顔せず

笑顔で連れて行って下さる看護師さんに感謝のみです。



一番は看護師さんが親切にしてくれるのが有難い！！

何でも嫌がらずしてくれて感謝している。空気の入換えをしてくれたり、

本当に色々よくしてくれれる。リハビリの方も親切だしね。

面会出来ないけど、こういう時期だから仕方ない。

家族とは電話もできるし、みんなで協力しないといけない。

ご飯もいい味が出て美味しい！いいですねえ。

前の病院はあまり味がなかったけど・・・。

景色もいい！緑が目にもいいし、朝と晩とで色が違う。

癒される。窓を開けた時に空気も気持ちがいい！！



家族に会えないのは仕方ない。

ここはどこの看護師さんより、みんながよくしてくれれる。

優しい。これ以上のことはない！！



幼い頃から病院知らずに来たのに6ヶ月前に脳梗塞に。

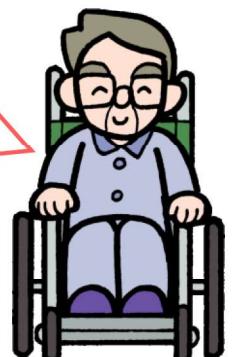
それから5年後、今度は癌（全身）。そして、コロナ禍。

もともと一人で何でもこなしていました。

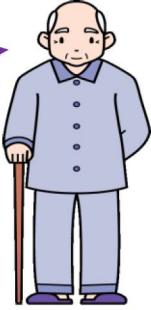
その分、時間を持て余してついつい看護師さんにわがまま言ったり、甘えたり…。それでも嫌な顔一つしないで献身的にお世話してもらい、

以前よりも自分の気持ちが優しくなったように思う。

有難いなって思う。この年になって少しは成長したような気がする。



コロナで面会できないのは寂しいが差し入れなど受け渡しができるので有難いと思っている。
スタッフみんなが優しい。病院に居るというより、ホテルに居させていただいているような気分になる。
(ティーサービスや食事のサービス、対応など)
面会禁止の寂しさはあるけど、会えない方がいい事もある。気楽。必要な時だけいい。



看護師さんの皆様には良くしていただき、大変嬉しく感謝しております。
食事の方も前にいた病院より味もついており、嬉しいです。
でも、私本人が副食を食べきれなくて残念です。
先日、夏祭りの行事にも参加させていただき輪投げとかヨーヨー等子どもに帰り大変楽しい時を過ごさせていただきありがとうございました。
月曜日と木曜日にはコーヒー やかき氷等いただき、
病院でこのようなことをしていただきびっくりしています。
今はコロナ禍でみんなに会えないのが大変残念です。
体調が少しずつ良くなり、家に帰りたい気持ちと
帰れば一人での生活が不安で悩んでおり、それが一番心配です。



～松山ベテル病院ガーデンにて～

ベテル病院ホスピス病棟（4階）のガーデンにフジバカマ（藤袴）という山野草が花を咲かせています。フジバカマの花は白や薄紫やピンク系の比較的地味な色味の花なのですが、時々蝶々が飛んできて止まっており、中でもアサギマダラという複雑な色と模様の蝶々が目を引きます。

台湾や南方の島々から八重山諸島、沖縄、屋久島を渡り、海を越えて飛んできます。200km/日の速さで総飛行距離は3000kmを超えるといいます。屋久島や九州、四国、本州の1000mを超える涼しい高原地帯で繁殖し、涼しくなると南方へと移動していくそうです。

蝶々はホスピスのシンボル（希望、命、スピリット、生まれ変わり）とされており、米国のボストン近郊には”Butterfly Hospice”という名前のホスピスがあります。



思い思いのひととき



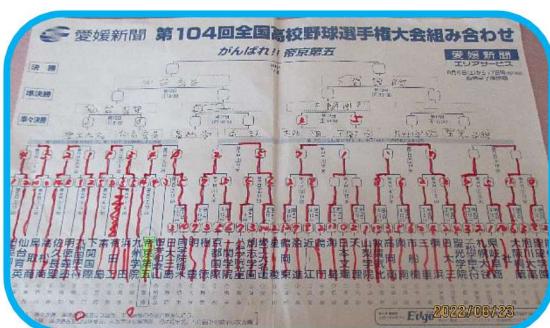
入浴禁止時には
足のしびれや冷えのある患者さまに
足浴を実施し、喜んで頂きました。



食欲減退している患者さまには、
少しでも水分が摂れるようにかき氷を提供しています。
気分転換にデイルームにお連れし、かき氷を介助すると
普段目を閉じて開けない患者さまが
パッチリ目を開けて摂取して下さり嬉しく思いました。

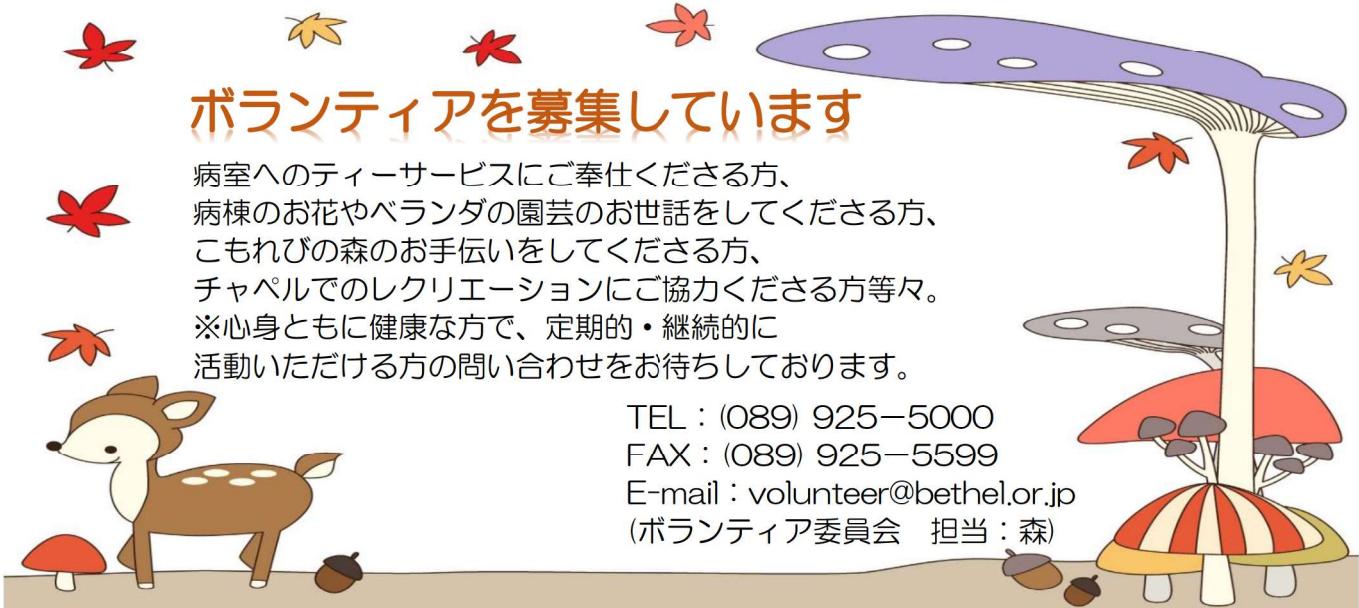


部屋から見る緑が綺麗で癒されると毎朝、カーテンを開け外の景色を眺める事を
楽しみにされている患者さまもいらっしゃいます。
秋にはヒガンバナが咲き、春には目の前の桜が満開となり特等席になります。
ガーデンでは、季節に応じた花が咲き誇り、天気の良い日には散歩を楽しめています。



野球がお好きな患者さまは、デイルームや自室で
メジャーリーグや高校野球を観戦され、
夏には高校野球のトーナメント表に
勝敗を記入して楽しめています。
病院でも趣味を大事にされながら過ごされています。

ボランティアさんが季節に応じた
折り紙作品を病棟に届けて下さり、
デイルームや患者さまのお部屋を
彩っています。



ボランティアを募集しています

病室へのティーサービスにご奉仕くださる方、
病棟のお花やベランダの園芸のお世話をしてくださいの方、
こもれびの森のお手伝いをしてくださる方、
チャペルでのレクリエーションにご協力くださる方等々。

※心身ともに健康な方で、定期的・継続的に
活動いただける方の問い合わせをお待ちしております。

TEL : (089) 925-5000
FAX : (089) 925-5599
E-mail : volunteer@bethel.or.jp
(ボランティア委員会 担当:森)

ホスピス献金のおねがい

ホスピス献金は、緩和ケア病棟等の援助など、
聖愛会の諸活動の援助の為に聖愛会に寄付としていただいております。
皆さま方の温かいご支援をお願い申し上げます。

★現金送金★

〒790-0833 松山市祝谷6丁目1229番地
松山ベテル後援会（松山ベテル病院内）

★郵便振替口座★

口座番号：01610-2-25364 名義：松山ベテル後援会
※「ホスピス献金」として献げる旨と「金額」をご記入ください。



編集後記

今回、入院中の患者さまにはコロナ禍での入院生活についてインタビュー（アンケート）
に快くご協力頂き、感謝申し上げます。寂しい、つらいという気持ちよりも、私たちスタッ
フへの感謝の気持ちを述べて下さった方がとても多く、驚きと共に、患者さまの優しさに嬉
しい気持ちでいっぱいになりました。

患者さまの想いの中にはやはり、家族に自由に会えないとや外出・外泊が制限されるこ
とが一番つらいと言う事を改めて痛感しました。その気持ちを胸に止め、ご家族への連絡や
洗濯物等の受け渡し時には、患者さま・ご家族の思いを傾聴し、伝えていくように日々努め
ています。電話が難しい患者さまに関してはリモート面会を積極的に勧め、少しでも顔を会
わせ、安心して頂けるようにしています。外出・外泊については、必要時はスタッフで話し
合い、家での感染対策にも気をつけて頂きながら、計画を進めていき、「その人らしさ」を大
切にしながらケアを提供させて頂いています。ご家族に会えない分、私たちスタッフが他職
種と連携しながら患者さまに寄り添い、家族のような気持ちで関わっていけたらいいなと思
っています。

また、患者さまの言葉を励みにより一層努力し、患者さま・ご家族が後悔のない入院生活
を送って頂けるように一日一日を大切にしながら関わっていきたいです。

和田・菊池・若松・野村